

部課名		保健所保健総務課											
課の使命		○市民が安全で健康的な暮らしが出来るよう支援します。 ○保健所の総務担当課として、所内の業務が円滑に遂行されるよう連絡調整します。また、他部署、他機関との連携が安定的に実施されるよう調整します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	災害時医療救 護体制の整備	発災時に急増する傷病者に対して、医療供給体制を迅速に構築する必要があるため、災害医療にかかわる関係機関と訓練を実施し、市全体の対応能力の向上を図ります。	医療救護活動訓練の回数	1回								
2	個別 計画	上手な医療のかかり方の普及啓発	市民と医療機関との良好な関係づくり等に関する情報を、社会状況に応じて提供方法を工夫し発信します。 また、関心の高い事項を注視しつつ、有用な情報を効果的に提供します。	普及啓発の回数	5回								
3	事務 事業 見直し	医療従事者免許申請のオンライン化の推進	国が今年度行う予定である医療従事者免許申請(年間約480件)のオンライン化により、市民サービスの向上及び業務量の削減を図ります。	周知の回数	2回								
4	人材 育成	「チームワーク志向」	課内研修を実施することで、課や係で業務知識を円滑に継承し、各業務への理解を深め、業務を効率化します。また、相互理解を深めることにより、様々な専門職の専門知識や経験を活用した業務の促進を図ります。	課内研修の実施回数	4回								

部課名		保健所健康推進課											
課の使命		市民一人一人が、健やかで自立した生活を送れる様に、健康づくりの取り組みを推進し、安心して過ごせる為の支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	自殺対策の推進	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、「まちだ健康づくり推進プラン24-31」の施策の方向性に基づき、各取り組みを実施していきます。	普及啓発の実施回数	12回								
2	-	熱中症対策の推進	熱中症による健康被害を防ぐため、市民への熱中症予防に関する普及啓発を行います。 また、庁内横断的に熱中症対策を推進するため、庁内での情報共有を行います。	普及啓発の実施回数	10回								
3	個別 計画	がん予防対策の推進	市民に対して効果的ながん検診の受診勧奨を検討・実施し、国の推奨しているがん検診の受診率向上に努めます。	市民への普及啓発回数	9回								
4	人材 育成	「チームワーク志向」	健康推進課への異動者に対し各事業の概要説明を行うことで、課内の業務内容への理解を深めます。 また、各事業における課題を整理し、課題解決の方向性を検討する内容の研修を通じ、職員一人ひとりが課の課題を正しく理解し、解決に向けて主体的に取り組むことができるように努め、課全体の課題解決力の底上げを図ります。	課内研修実施回数	3回								
5	事務 事業 見直し	健康情報発信の拡充	保健所情報誌「みんなの健康だより」を発行します。 また、新たな健康情報発信の手法について調査・検討します。	市民への健康情報の普及啓発回数	3回								

部課名		保健所保健予防課											
課の使命		市民一人ひとりが健やかで安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	人 材 育 成	「目的志向」	感染症発生に備え迅速かつ適切に対応できるよう、保健予防課職員及び他課の保健師の育成を図り、研修及び訓練の実施により、感染拡大時の対応力を強化します。	①研修及び訓練の実施回数 ②研修及び訓練の受講率	①4回 ②70%								
2	個 別 計 画	こころの健康づくり(ひきこもりを含む)に関する普及啓発	精神疾患やひきこもりなどへの正しい理解や地域での見守り、必要な相談につながるための普及啓発を行います。	普及啓発の実施回数	7回以上を維持								
3	個 別 計 画	難病患者の災害対応に向けた体制整備	避難行動要配慮者である在宅人工呼吸器使用難病患者を対象に、本人・家族や地域関係者と連携して、災害時個別支援計画を作成します。また発災時に取るべき行動や平時からの準備をより具体的にできるよう災害時訓練を実施します。	災害時個別支援計画を策定している在宅人工呼吸器使用難病患者(※)の災害時訓練実施割合 ※年度初めから把握しており年度末まで在宅療養を継続している者	50%								
4	個 別 計 画	分野を横断した食育推進	講演会の開催や農業体験の実施、SNSによる情報発信等、市民や関係団体と連携しつつ、事業を行っています。引き続き、食育とは直接関係の無い分野とも連携し、庁内各課や関係団体がより一体となった事業展開を目指します。	分野を横断した食育推進事業数	1件(2023年度からの延べ5件)								
5	-	わくわくワクチンプラスの利用促進	予防接種の通知物やホームページを利用して、わくわくワクチンプラス(予防接種スケジュール管理アプリ)についての周知・利用促進を行います。	2025年度出生数に対するわくわくワクチンプラス(Web版、アプリ合計)新規登録件数の割合	8割								
6	事 務 事 業 見 直 し	事務業務の効率化	2026年度の予防接種デジタル化全国展開に向けて、国や関連団体等と協議、情報共有を行い、円滑な移行を進めます。あわせて、市民向けの周知を開始します。	①国・関連団体等との協議会等への参加回数 ②市民向けの周知件数	①5回 ②1件								

部課名		保健所保健予防課 母子保健担当											
課の使命		市民一人ひとりが健やかで安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	事務事業の見直し	マイナンバーカードを活用した母子保健DX(医療費助成、予防接種、乳幼児健診等)の2026年度の全国的な運用開始に先立ち、3～4か月児健診の実証事業を実施します。 デジタル化した問診票による健診ならではの課題を整理し、マニュアルの作成や医師・保健師との共通認識を図るなど、より効率的な健診の実施体制を確立して、市内3会場での実施を目指します。	問診表をデジタル化した 集団健診の実施	3会場								
2	個別 計画	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の推進	①妊婦面接やこんにちは赤ちゃん訪問に加え、妊婦のため支援給付を活用した経済的支援と妊娠8か月時点でのアンケートと面接を行う妊婦等包括相談事業を実施し、必要な家庭に支援を行います。 ②東京都の専門的な研修を受けた職員が、本人の強みを引き出しながら支援を行うケンプアセスメント面接という技法を用いて、妊婦から1歳までの子がいる家庭対象に実施し、さらに支援を充実させていきます。 ③産後ケア事業推進のため、妊婦面接やプレパパママ学級での周知を行っていきます。	①出生世帯数に対する 面接の実施率 ②実施地域の拡大 ③産後ケア利用申請数	①85%以上 ※「まちだ健康づくり推進 プラン24-31」 で設定している 目標値 ②拡大 ③899件 ※「まちだ健康づくりプラン 24-31」で設定 している目標 値								
3	個別 計画	成人期を対象とした歯科保健の普及啓発	①20代前半は26.6%、40代後半は42.8%と歯周病の割合が増加する20代～40代を対象に、啓発用チラシを作成し、かかりつけ歯科医での定期健診や予防処置を促進するための普及啓発を行います。 ②高齢期の口腔機能維持に資する高齢者歯科口腔機能健診の受診勧奨及び「ロトレ～まちだお口を元気にするトレーニング」(以下『ロトレ』)の普及啓発を継続実施します。	①成人期を対象とした普及啓発実施件数 ②高齢者歯科口腔機能健診の受診勧奨及びロトレの普及啓発実施件数	①7件 ②7件								
4	人材 育成	「市民志向」	子育て支援に携わる職員に対して、子ども家庭センター関連の研修の実施を行います。	①回数 ②研修参加人数	①1回 ②50人以上								

部課名		保健所生活衛生課											
課の使命		・生活衛生に関する正しい知識や情報を行き渡らせ、市民の安全で健康的な暮らしの創造を支援します。 ・生活衛生関係事業者の自主的な衛生管理を推進し、衛生管理が行き届いた安全な生活環境を実現します。 ・市民・関係団体の相互理解と協調による動物との共生社会を実現します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	福祉関係機関等との連携強化	高齢者のペット飼育に関する相談やトラブルについて、関係機関等と円滑に連携し対応ができるよう、福祉関係施設等と動物飼育に関する問題や対応事例等について情報共有を行います。	関係機関と行った情報共有の回数	3回								
2	個別 計画	食品等事業者による自主的な衛生管理の推進	食中毒等を防止するため食品関連施設に対し計画的に監視指導を行い、自主的な衛生管理を推進します。	町田市食品衛生監視指導計画に基づく立入検査実施率	100%								
3	個別 計画	公衆浴場等における衛生対策の推進	公衆浴場・旅館業の入浴施設及びプール運営施設に立入検査を実施し、設備に応じた適切な衛生対策を指導します。水質検査を実施してレジオネラ属菌が不検出となることを確認します。	立入検査実施率	100%								
4	事務 事業 見直し	仕様の見直し(回数・頻度・手法・水準等)	①保健所中町庁舎の管理について、2027年度に予定されている長期継続契約の更新にあわせ、効率的で効果的な管理を目指し、施設管理の仕様の見直しを進めます。 ②事務事業見直しの一環として、委託業務内容を見直しします。また、見直しによって、市民サービスや業務の効率性への影響が生じないよう、各業務の運用について検証を行います。	①施設管理の効率化に向けた情報収集 ②見直し・検証を行った業務数	①実施 ②3業務								
5	人材 育成	「チームワーク志向」	新規採用職員や異動者等に対して、指導員だけでなく課全体でOJT(基本的な指導・育成)に取り組む体制を検討します。 新しく配属された職員のみならず全職員が、課全体の業務内容を把握し、有事の際などに課内で協力体制がとれるような仕組みの構築を進めます。	OJT(基本的な指導・育成)に関する仕組みの検討	実施								